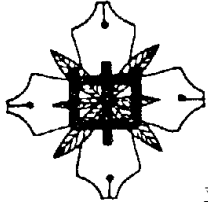


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にする心」「たくましく生きる力」を育てよう



十中だより

平成28年 7月20日 発行 第15号

発行者：中野区立第十中学校

アリとキリギリス

「アリとキリギリス」は誰もが一度や二度は目にも、耳にもしたことのあるイソップ童話だ。

童話のあらすじは・・・。

夏の間、アリたちは冬の食糧を蓄えるために汗を流しながらせっせと働き続けた。一方、キリギリスはバイオリンを弾き、歌を歌って優雅に過ごした。

やがて冬になり、食糧がなくなったキリギリスは、アリの家を訪ね食べ物を乞う。しかし、アリから「夏の間は歌っていたのなら、冬の間は踊りなさい」と言われ、食べ物をもらえずに飢え死んでしまう。

以上が原典だが、最近では、キリギリスが飢えて死ぬのは残酷であるという配慮から、結末が次のようになっていることが多い。

アリはキリギリスに食べ物を与え、「私は、夏にせっせと働いていた時、あなたに笑われたアリです。あなたは、夏に何の備えもせず遊び呆けていたため、こうなったのですよ」と諭す。これを機にキリギリスは心を入れ替えて、夏の間も一生懸命働くようになった。

結末がどうであれ、童話は我々に、キリギリスのようなその日暮らしを慎み、アリのように将来への備えを怠らない生き方をせよという教訓を与えている。



ところで、働き者の代名詞であるアリの中にも働かないアリがいることは以前から知られていた。今年2月、北海道大学准教授がこうしたアリの生態について詳細な研究結果を報告し、話題になった。

アリのコロニー（集団）にほとんど働かず、餌から離れて、何をするでもなく、その辺りをうろろろしている「怠けアリ」が2～3割存在している。研究では、それらの「怠けアリ」を全て取り除き、「働きアリ」だけのグループを作っても、必ず「怠けアリ」が2～3割現れることを報告している。そして、「働きアリ」が疲れて休むようになると、代わって「怠けアリ」が働き始めることも突き止めている。同じ実験を何度行っても結果は同じであった。

このことについて准教授は、「働きアリ」が疲れて一斉に働かなくなると、必要な卵の世話が滞りコロニーが減びてしまうと分析している。そして、「怠けアリ」は「働きアリ」の重要な交代要員であり、コロニーの長期的存続に不可欠な存在であると結論づけている。

ちなみに、「怠けアリ」ばかりを集めると約8割が「働きアリ」に変貌したとか・・・。

28年度がスタートして4ヶ月弱。授業・行事・部活動に忙しい4ヶ月間であった。この間、十中コロニーには「働きアリ」に徹した職員はもちろん、生徒も多かった。十中の現在の教育環境の維持・存続のためには、「働きアリ」の息抜き・骨休みが必要であることは准教授先生のご指摘の通り。それに、十中コロニーに交代要員はいない。

明日から夏休み・・・。42日間が、実りの秋を迎えるための充電期間となることを願っている。

「いのちの授業」「乳児ふれあい教室」を実施

2学年では毎年、「命の大切さを学び、自他を大切に
する心を養う」ことを目的に「ふれあい教室」を
実施しています。

今年も6月14日(火)に松が丘助産院院長宗祥子
先生を講師にお招きし「いのちの授業」を実施し、
一つの「いのち」が誕生することの神秘について学
びました。

また、6月21日(火)には1歳未満の21名の乳
児とそのお母さん(お父さん)をお迎えして、「乳児
ふれあい体験」を実施しました。

この日は、まず体育館でスタッフからお話を伺い、赤
ちゃんの人形を使って抱き方の練習をしました。その
後、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃで一
緒に遊んだり、赤ちゃんの行動や表情を観察したり
、お母さん・お父さんに話を伺ったりして充実した
時間を過ごしました。



生徒の感想

◎赤ちゃんができるまでを知って、男の人よりも女の
人の方が大変だなと思いました。相手の人を思いや
り、自分のことを知ることを忘れずに過ごしてい
こうと思いました。

◎すべての子供が健康ではなく、望まれて生まれてき
た子供であるとも限らないことも知りました。私は、
生まれてくる子供を全力で愛してあげようと思いま
した。

◎まだ歩くこともできない赤ちゃんが、勉強したり走
ったりできるまで成長することはすごいことだと思
います。一つの命を周りの人がどれだけ大切にしてい
るかがわかり、自分の命も大切にしようと思いま
した。



赤ちゃんのお母さん方のご感想

◎十中の皆さんが素直で、赤ちゃんをととてもかわいが
ってくれたので、とても嬉しかったです。我が子も、
いつか、十中に進学することを想像しながら皆さん
とお話しさせていただきました。

◎男子中学生と女子中学生の反応の違いがおもしろ
かったです。女子は見たとたん、皆、やわらかい表
情になって、積極的にさわりたいがって、男子は
ちょっと引き気味だけど、赤ちゃんを見る目は
どの子も優しい目で、なぜか皆、足をさわりたい
がって特におもしろかったです。

◎半年間子どもを育てるだけでも多くの大変なこ
とや悩みがありました。皆さんのお父さん、お母
さんは、すでに10年以上そんな経験をしながら
育てているので、是非、感謝の気持ちを伝え
てあげてください!!

◎代表の生徒さんが「この子たちが中学生になる
頃の社会は自分たちの世代が作る」という感
想には大変感激しました。

◎素敵なパパ、ママになってくださいね。



2年校外学習実施

大使館も訪問

7月1日(金)、第2学年は校外学習として1年後の修学旅行を想定して都内めぐりの班行動を行いました。今回は2020年オリンピック・パラリンピックを意識して11ヶ国の大使館を訪問するという新しい企画も導入しました。

班行動では計画通りにいかなかったり、電車を間違えたりするハプニングもありましたが、生徒は臨機応変に対応し、どの班も大きな混乱もなく校外学習を終えることができました。

また、各大使館も温かく迎え入れてくださり、様々なお話を伺うことができました。班によっては民族衣装を着たり、現地のお菓子をいただいたりして、「大使館、楽しかった!」という声がたくさん聞こえてきました。事前にその国やことばを調べていたため、最後はその国の言葉であいさつをすることもできました。

今回の校外学習は修学旅行へ向けて大変良い経験ができました。これからの学校生活に活かされることを期待しています。



「社会を明るくする運動」推進活動

「坂上DEいきいきコンサート」が開催される 於十中

7月15日(金)、法務省主催「社会を明るくする運動」を推進する活動として「坂上DEいきいきコンサート」が開催されました。

当日はあいにくの雨模様で、会場がサンブライト広場から十中体育館に変更となりましたが、生徒及び保護者の皆さん、大勢の地域の方々が参加小中学校の演奏に聴き入っていました。十中も吹奏楽部と和太鼓部が同コンサートの最後に演奏を披露して「社明運動」を盛り上げました。

吹奏楽部及び和太鼓部の1年生は今回のコンサートが大勢の前で演奏する初めての機会でした。多少緊張もありましたが、最後まで上級生と一緒に堂々と演奏をし、会場から大きな拍手をいただきました。両部は、今後、たくさんの場で演奏活動を行っていくことになります。活躍を期待しています。



ボランティア活動に参加しよう！

夏になり、地域では様々なイベントが開催されています。それに伴い、ボランティアの需要も高まっています。写真は7月2日(土)に行われた「朝日が丘児童館サマーフェスティバル」の様子です。十中からも17名の生徒がボランティアとして参加し、準備や運営を支えました。



後日、同児童館より十中生の活動の様子についての報告書をいただきました。その中に以下のような感想が記載されていたので、紹介させていただきます。

大変真面目にボランティアに取り組んでいて立派だった。どの場面でも実行委員会と協力し、乳幼児親子など年齢に幅のある大勢の参加者のお世話をすることができた。準備や片付けなどの地味な作業も多かったが、暑い中、きちんと取り組んでいた。地域からも中学生ボランティアへの感謝の声が寄せられている。二中学生のボランティアとも協力できていたようである。

十中では、十中生が心豊かな生徒に成長し、地域社会に貢献する人になることを願い、学校内外でのボランティア活動を推奨しています。ボランティア活動を行った生徒は「ボランティア報告書」を提出することで「ボランティア・スピリット賞」が授与されます。

保護者の皆様におかれましては、本趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、地域の皆様の中でボランティアを必要とするような活動がございましたら、本校までご連絡をいただきますようお願いいたします。

小中連携教育を進めています

6月17日(金)、第1回目のオープンキャンパスが行われ、連携校の谷戸小・塔山小の6年生が十中の授業見学をしました。第2回目の9月8日(火)には6年生が学校説明を受け、部活動を見学します。また、第3回目の2月18日(土)には入学説明会と授業体験が行なわれます。

オープンキャンパスと別に小中連携教育の一環として中学校の先生が小学校で、或いは小学校の先生が中学校で授業を行う、乗り入れ指導も実施されています。今年は、数学・理科・英語、及び音楽・道徳で乗り入れ指導が計画されています。15日(金)に谷戸小の先生が十中の1学年理科の授業にTTで入られた際、1年生の成長ぶりに大変驚かされていました。

また、十中では連携小ではありませんが、桃園小とも独自の連携教育を進め、オープンキャンパスや乗り入れ指導、学校説明会等を行っていく予定です。



熱心に授業見学をする谷戸小児童



プールの授業見学をする塔山小児童